

第18回法人会全国女性フォーラム広島大会報告書

公益社団法人盛岡法人会女性部会

部会長 池野 環

2024年4月18日、第18回法人会全国女性フォーラム広島大会（於：広島県立総合体育館）に出席しました。全国から399単位会1,700名余りの女性部会員で会場が埋め尽くされました。

大会に先立って午前中に開催された全法連女性部会連絡協議会の情報交換会では、食品ロス問題ジャーナリストである井出留美氏の講話をお聴きしました。食品ロス問題に取り組んだ結果売上が伸びた企業や、ごみ処理を減らすことで税金や価格が下がることなど、具体的な事例を紹介しながら食品ロス削減が経済的損失や環境問題の面からも大事なことなどをお話いただきました。

続いて、各単位会での取り組みについての情報交換が行われました。勉強会を開催している単位会、フードバンク活動を行っている単位会、取り立てて何も活動をしていない単位会もあるなか、租税教室で「ごみ処理にかかる費用」と「食品ロス削減」を関連付けて説明している当会の活動は先進的であると思います。参加者のお一人は「井出先生のお話をお聴きするのは3回目だが、“ごみを減らせば税金が減る”ということに先生が今回力を入れてお話されていた。」と感想を述べられました。

第一部記念講演では広島交響楽団桂冠指揮者の下野達也氏より、音楽と師の出会いから指揮者という職業についてなどのご講演をいただきました。「指導者はチャンスを与えるものである。学びたいと思うのを待つ。」という言葉が印象に残りました。

第二部式典では国税庁課税部長、広島県知事、広島市長ら多数のご来賓をお迎えし、ご祝辞を賜りました。女性部会のさらなる飛躍を祈念し、『今、みつめなおそう！～多島美の瀬戸・豊かな里山から～』と大会宣言が読み上げられました。

第三部懇親会では原爆ピアノを使用したヴァイオリンとピアノの演奏やダイナミックな広島神楽が賑やかに催されました。

現在、全国の法人会で積極的に取り組んでいる「税に関する絵はがきコンクール」を初めて開催したのが広島県の福山法人会です。絵はがきコンクールが全国に広まったように、食品ロス問題についてもこれから各単位会での活動がさらに活発化していくことと思います。井出留美氏が「意識の高い人は自ら講演を聞きます。誰かひとりでも伝えてください。」とお話されていました。

女性部会としても勉強をしたことを人に伝え、どのような社会貢献が出来るのかを考えていきたいと思っています。

以上